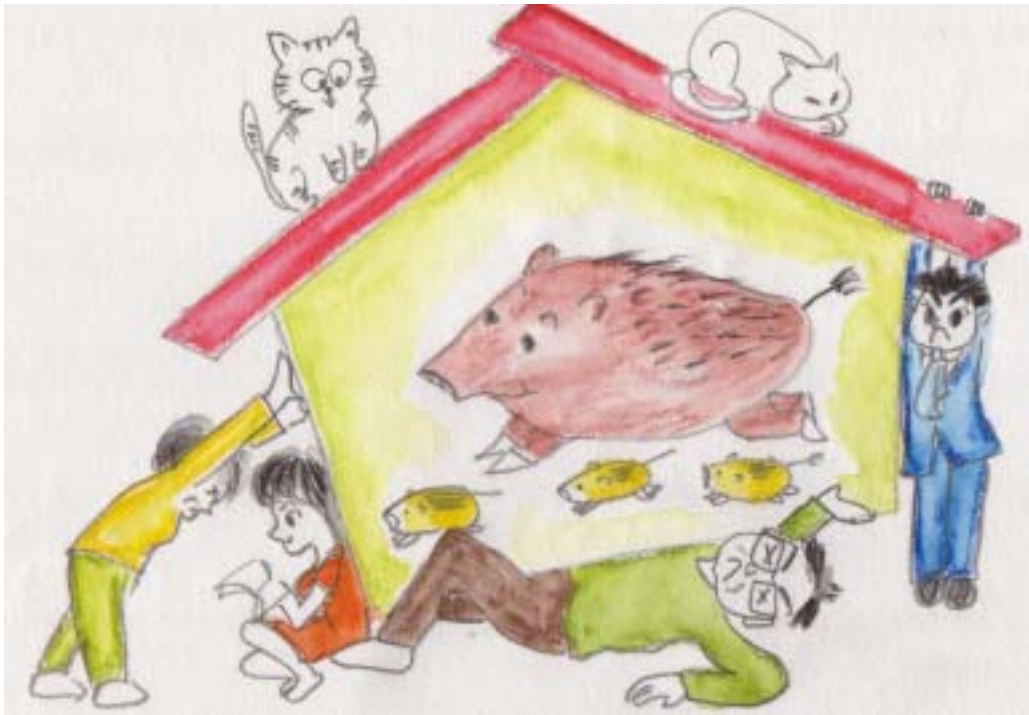


2007年 明けましておめでとうございます。

一汁一菜

NO. 121

大津市 一丁目 番号
松村新聞社
編集長・妻・長女・長男



あなたへの
メッセージ

2007年の新春を皆様お揃いで迎えられたことをお慶び申し上げます。
我が家は、おかげさまで、大津に居を構えて24年4人の家族と猫2匹が揃って、大晦日の年とり行事を迎えることができました。
これからは、各々の年齢に応じた、社会人としての自立がテーマになりそうな予感がしております。
編集長は、五七歳を迎えて、職場生活もあと三年余となり、「団塊世代の挑戦」よろしく、ソフトボール・ゴルフ、家庭菜園、HP・ブログ更新、読書・映画鑑賞などをこまめに追い求めて、バタバタした日々を送っています。こつした人は止まった時が危ない!、と専らのウツサです。
妻は、つくし保育園を休職して早一年余になりました。保母の「職業病」である「頸肩腕」症候群からの復帰をめざして、懸命な治療を続けております。今年の4月、新しい保育園「たんぼ保育園」が開園します。そのときの復帰が最後の機会となりそうです。
長女は、愛知県・春日井市で一人暮らしを続けています。オムロン・ソフトウェアからオムロンへ移籍となつて、SEの仕事は相変わらず忙しくて毎夜十時〜十一時帰宅が普通とのこと。2ヶ月に一度ぐらいの帰宅が家族との触れ合いの時間となっております。
長男は、住宅メーカー「エスバイエル」に就職して九か月、帰宅が午前になることもしばしばで、自宅から通勤できていることがせめてものメリットか。体力勝負の厳しい世界の様です。
あと、七歳を迎えた猫「コロ」と七か月の猫「ユキ」は、いずれも元気です。
今年一年、我が家の面々のお付き合ひよろしくお願ひします。

2007年1月元旦 家族一同

白山一里野・スキー&温泉

白山の山嶺にある一里野温泉。夏はリゾート、冬はスキーでにぎわう温泉場です。妻が湯治のできるスキー場として選んだ所。長男が今年の四月から社会人となるため、最後の家族旅行という事で、春日井の長女にも参加してもらって、久しぶりの家族旅行となりました。

→ 月二日出発。一里野温泉・岩間山荘で二泊プランです。到着後、天領の湯で、ゆつくり露天風呂を楽しみました。

二日は朝からスキー。異常な降雪で、スキー場は雪で埋まっている感じです。ゴンドラが強風のため



運行中止。長女と孝彰はショートスキー、長男はボードでした。二年ぶりのファミリースキー。妻は温泉に浸かりながら読書でした。

立命館大学・卒業式

二月一日は、立命館大学・衣笠キャンパスの卒業式でした。衣笠キャンパスを訪れるのは二回目、一回目が長男の法学部入学手続きのため、そして卒業式です。夫婦・妻の母と三人車で出かけました。

法学部は午前十時からでした。沢山の父母が参加していました。法学部八八四名卒業だったように思いました。

総長の挨拶は、アメリカは他国との関係

によって自らを正義とすることが依然として必要だが、中国・ヨーロッパなどの他の国はアメリカを必ずしも必要としなくなってきた、そうした二世紀に諸君は巣立つていく、というメッセージだったように思います。



乗鞍高原温泉

黄金週間の連休を利用して中津川と乗鞍高原の二泊三日旅行に出かけました(夫婦とおばあちゃん三人)。

中津川では、暮参りと馬籠宿の散歩を楽しみました。宿泊は「ホテル花更紗」。

乗鞍高原・一の瀬園地には水芭蕉が群生しています。ここは水芭蕉の隠れ名所で、観光客は多くなく、心行くまで楽しむことができます。水芭蕉がちょうど見ごろを迎えていました。



水芭蕉と白樺と残雪と乗鞍岳の積雪と、なかなか絵になります。

志賀高原・ほたる温泉

今年の夏休みはトレッキング目的に志賀高原へ夫婦で出かけました。

志賀高原には「池めぐりコース」という

トレッキングコースがあります。田の原温泉には、ワタスゲが一面に広がっています。まるで、綿帽子のようで、とてもロマンチックな雰囲気でした。また、木戸池は新緑の中でたつぷり水をたたえています。その池の淵には「ヒオウギアヤメ」が咲いています。



原生林の中を歩いていくとひょうたん池に出ます。付近は深山に囲まれて幻想的な雰囲気がありました。翌日は、草津温泉と白根山へ。白根山には噴火口の湯釜があります。

浜名湖弁天島でバーベキュー

今年の「いとこ会旅行」(多田商店旅行)は関東と関西の間で、浜名湖が選ばれました。盆休みを利用して、八月十四日・十五日、館山寺温泉泊の一泊二日旅行でした。初日の昼食は、弁天島にあるオートキャンプ場でバーベキュー・パーティを行いました。総勢十九名という大所帯での野外の食事となりました。



「潮干狩り」シーズンで、弁天島で潮干狩りができました。収穫した「アサリ」は翌日まで持つ

よつに工夫して持つて帰りました。

土山・カモシカ荘へ小旅行

九月、鈴鹿山麓にある国民宿舎「かもしか荘」へ出かけました。夫婦とおばあちゃんとの妹の子供(小四)の四人旅行です。



到着後、野洲川の源流を散歩。山の緑が非常に深かったです。

夕食は、マツタケを含む沢山の料理が出ました。味付けも美味しく、十分に及第点でした。風呂は、ナトリウム・放射線量。ツルツルの感じがする感触でした。

翌日は、近くにある日野町の「ブルームの丘」に寄って、中を散歩しながら、花・羊・馬を鑑賞しました。子ども達の希望で「カートと足漕ぎボート」に乗りました。ゆつくり出来た二日間でした。

湯本温泉・湯治旅行



山口県の俵山温泉が湯治に良いと聞いて、十二月、旅行社の連泊プランに沿って夫婦で出かけました。宿泊したのは湯本温泉・「ホテル枕

水(ちんすい)でした。

近所をぶらぶらして大変にゆつくりしました。その散歩で、萩焼・深川窯元を訪ねる機会がありました。湯本温泉を流れる音信川を上流へ歩いていくと、谷間を流れる川に沿って家が点々と散在しています。そこが深川窯元でした。

湯本温泉は、pHの高いアルカリ単純泉で、肌がツルツとした感じになります。

俵山温泉へはマイクロバスで送迎してもらって、『白猿の湯』にじっくり浸かってきました。

多田三造さん 一回忌



六月に多田三造さん(雅子の父)の一回忌の法要がありました。姉妹(瀬田から姉さん、福岡市から妹さんが参加)と親戚筋、子どもは兄(東京)三姉妹(大津)が配偶者とともに参加、それに、孫が三組の夫婦と独身者四人、ひ孫が一人、全体としては若い人が目立ちました。

仏間でお経のあと、びわこホテルから送迎バスがきて、食事はびわこホテルの豪華な雰囲気のレストランでした隣りに座られたお坊さんと色々話しました。

兄夫婦とその子どもたちは遠く東京都と茨城県から参加したので、日帰りでした。遠くから苦勞なままでした。

ロシア出発 壮行会



名古屋に住む編集長の妹の夫が今までの仕事に区切りを付けて、ロシアへ出発することになり、九月三十日に姉弟妹の三人それぞれの夫婦

と彼のお母さんが参加して、壮行会を行いました。会場は名古屋・ホテルプラ王山のレストランでした。

今後は、ロシアの学校で日本語を教える教師としての再出発することです(大学生・高校生・中学生を教える)。

ロシアは本場に広い。それで、今回行くのは、ロシアのうちでも中央シベリア高原に属するクラスヤノスク(シベリア鉄道の駅・大きな街)という街から北へ六十km行ったところにある街とのこと(名前は聞きましたが不明)。クラスヤノスクまでウラジオストックから五千kmといいますが、桁が違います。

彼は、ロシア語を独力で覚えています。その街に日本人は一人もいないとのこと。ロシア語で全てをこなすことになりました。単身赴任しますが、日本から現地までの交通費が給料の数ヶ月分必要という距離です。日本へ帰って来るのは年一回くらいが限度のようです。

来年の夏に帰省した折に報告会を開いてもらって様子を聞く予定です。

道尾秀介さんの作品高い評価

『背の眼』でホラーサスペンス大賞特別



賞を受賞してデビューした道尾秀介さん(甥)。昨年度は、『向日葵の咲かない夏』を発表し、第六回本格ミステリー大賞最終候補作五作に挙げられました。

〇六年度に入って、二作品を発表しています。『骸の爪』と『シャドウ』。これらの作品はいずれも高い評価を得ているようです。

先ず、週刊文春が選ぶ『週刊文春傑作ミステリー ベスト一〇』では、『シャドウ』が十位にランクインしています。また、『本格ミステリー大賞』ですが、投票は来年になってからですが、今年のベスト二〇が発表になっています。

六位 『シャドウ』七位 『骸の爪』九位 『向日葵の咲かない夏』と三作も入っています。これはすごい!

また、『このミステリーがすごい二〇〇七年版 ベスト一〇』では、三位に『シャドウ』がランクインしています。ベスト三〇では、一七位『向日葵の咲かない夏』二九位『骸の爪』と三作品がランクインしています。これもまたすごいと思います。どの作品も高い評価を得ていることが分かってうれしい話です。未読の方は是非本屋で購読していただいて、『道尾ワールド』を楽しんでください。

家庭菜園 頑張ってます

我が家庭菜園(約百坪の畑を地元の農家



から借用)では年間に六〇種類の野菜に挑戦しています。春と夏の野菜ジャガイモ・エンドウ・ソラマメ・タマネギ・キャベツ・

ニンジン・ネギ・イチゴ・ブロッコリー・小松菜・ほうれん草・ミズナ・モロヘイヤ・ツルムラサキ・アサタバ・チンゲン菜・レタス・サニーレタス・トウモロコシ・オクラ・キュウリ・カボチャ・冬瓜・ズッキーニ・ゴウヤ・インゲン豆・トマト・ナス・ピーマン・タカノツメ・万願寺トウガラシ・ジャガイモ・ゴボウ・シロカブ・サツマイモ・自然薯・ウコン・ヤーコン(以上三八種類)

秋と冬の野菜 白菜・ブロッコリー・カリフラワー・キャベツ・小松菜・ほうれん草・ミズナ・チンゲン菜・サニーレタス・菊菜・壬生菜・チシャ・イタリアンパセリ・ルッコラ・パジル・大根・白カブ・聖護院カブ・ニンジン・ゴボウ・日野菜・里芋(以上二種類)。

今年の野菜でヒットだったのは、ヤーコンを二〇株栽培・収穫できたこと、ジャガイモを五種類植えられたこと(男爵・アンデス・北あかり・シンシア・インカのめぐみ)、自然薯がよく育っていたこと、ゴーヤを沢山収穫したことなどです。

今年も下仁田ネギ・ピーツなどと新種に挑戦することも含め、家庭菜園を楽しみたいと思っています。

ブログの運営(団塊世代の挑戦)

編集長は現在『団塊世代の挑戦』二〇〇六」といふブログを運営しています。開設したのは二〇〇四年の大晦日でしたからおよそ二年になります。

現在、記事数925本(今年の一月一日に366本でしたから一年間で559本の記事数)訪問者数91,214人、トータルアクセス数251,870回、まで成長してきました。ほぼ毎日更新を続けてきました。

映画・読書・スポーツ・家庭菜園・くらし・コラムなどに分類して記事をアップしています。ブログに感想を書き込む作業のお陰で、『映画一〇〇本、読書五〇冊』の目標は超過達成して、映画一五〇本、読書六五冊の感想を掲載することができました。(団塊世代の挑戦)で検索できます。興味のある方は覗いてみてください。妻もブログを開設しています。今年三月から「リハビリ日記」的な内容でスタートして、今、記事数が280本、毎回コメントがのくくらいあるブログに成長しています。こちらも毎日更新を続けています。



ホームページ健在です

我が家のホームページ「汁一葎」は継続運営しています。二〇〇〇年二月に開設して六年九か月が経ちました。週に一回以



上の更新を目標としてきました。こちらはアクセス数やB&B件で、HPとしては順調な方だと思っています。

コラム動点・全国発信

コラム動点が、自治労連が週一回発行するメールマガジン「Jメール」の「今週のコラム」欄に採用されて、全国発信されています。

一九八九年に職場の労働組合の機関紙に週一回のペースで書き始めたコラム動点は、一七年を経過した現在も健在で、五〇〇字という文字数の制限を守って、毎週水曜日の組合ニュースに掲載しています。テーマは時事性を重んじながらフリーハンドで思ったことを綴っています。気楽な道楽として今後とも末長く続けていきます。

壁紙を張替えて一新



二匹の猫が家の壁紙をボロボロにしてしまった我が家。築一八年を迎えたことでもあり、思

い切って一階と二階廊下部分の壁紙を張り替えることにしました。

近所の内装屋さん頼んで、五日間の作業でした。今度は猫対策で、爪が立たない硬い壁紙を選択しました。客間の襖・障子・畳も新調しました。その間、家の中が大変でしたが、出来上がってみると、やっぱり新しいものはいいものです。

ミオは往生・ユキ参上

生き物は長女が好きで、「インコ」「ウサギ」「金魚」などを飼った経験があります。家の新築とともにやってきた白と茶の

猫「ミオ」が、〇六年、十八年生きて大往生しました。その結果、推定五才の白と黒の「コロ」一匹になったなと思ったその一週間後には、生後三ヶ月位の真っ白な猫「ユキ」がやってきました。長女が「拾った」とのこと。



その結果はほぼ途切れることなく二匹の猫を飼っています。

万所さん職場復帰

大学時代の友人である万所さんが郷里の福井で勤めていた「ホクエツ福井」という会社から突然、「指名解雇」を受けて、その撤回を求めて、四年間、裁判闘争を闘い、高裁で完全勝利の判決を勝ち取って職場に復帰しています。四年間戦い抜いた



すごい精神力に敬服しています。大学の同窓生の尽力で、職場復帰を祝う会が京都・宮津の文殊堂の近くで開かれ、参加しました。同窓会のように楽しく過

何でもベストテン

昨年(四つ星映画)の「インセント・ボイス(十二歳の戦場) ホテル・ルワンダ スタンド・アップ シンデレラマン 鬼が来た! コーラス(邦) 博士の愛した数式 蝉しぐれ ザ有頂天ホテル カーテンコール

昨年の四つ星読書 君の星は輝いているか(伊藤千尋) 老いの語らい(沢村貞子) しなやかにフェルマータ(松野迅) 生協の白石さん(白石昌則) 笑いの大学の創り方(三谷幸喜) 2010年テレビが消える(黒田充) 住民が主人公を賣く町(山田兼二)

編集後記

一年ぶりの発行となりました。今回は昨年の実績と新年の抱負を割愛して、できごと中心の編集にいたしました。家族の生活の一端を紹介する内容となっています。今年一年、皆様にとってよい年でありますように(M)